

2009年4月15日

各位

オリックス株式会社  
オリックス環境株式会社

## 国内クレジット制度における初の森林バイオマスプロジェクトへ参加 ～ 排出削減事業および排出削減方法論を申請～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄）およびオリックス環境株式会社（本社：東京都港区、社長：小原 真一）は、国内クレジット制度（\*1）に基づく「排出削減事業」として、国内クレジット認証委員会（\*2）にスギ材を熱源とする融雪・暖房用バイオマスボイラー導入事業を申請し、本日、受理されました。同時に、オリックス環境は、バイオマスボイラーを新設する際に国内クレジットの対象となる「排出削減方法論」を申請しましたのでお知らせします。

今回、オリックスおよびオリックス環境が国内クレジット認証委員会に申請して受理された「排出削減事業」は、山形県西置賜郡小国町内のスギ間伐材等を有効活用し、町の歩道や町役場庁舎駐車場の融雪および庁舎の暖房ボイラーをA重油焚きボイラーから木質バイオマスボイラーに転換。オリックスおよびオリックス環境は、本事業によって創出されたCO<sub>2</sub>排出削減量を国内クレジットとして取得するものです。



また、同時に申請した「排出削減方法論」では、国内クレジット制度の対象範囲を広げるために、従来の化石燃料を使用する既存ボイラーから高効率ボイラーやバイオマスボイラーへの更新だけでなく、新設する場合も対象となるように申請しました。今後、国内クレジット認証委員会において認証が得られた場合には、当該方法論を用いた排出削減事業を申請する予定です。

## 【排出削減事業の概要】

### (1)事業の名称

小国町のスギ材を熱源とする融雪・暖房用バイオマスボイラー導入事業

### (2)申請者

小国町（山形県西置賜郡）：排出削減事業者

オリックスおよびオリックス環境：排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）

### (3)事業の概要

- ・小国町は、町役場庁舎駐車場や歩道の融雪および庁舎の暖房用ボイラーを、A重油焚きボイラーから木質バイオマスボイラーに転換することにより、A重油使用量やCO<sub>2</sub>排出量を削減するとともに、町内のスギ間伐材等の有効活用を推進
- ・オリックスおよびオリックス環境は、本事業によって創出されたCO<sub>2</sub>排出削減量を国内クレジットとして取得
- ・事業期間は2008年度から2012年度の5年間

## 【排出削減方法論の概要】

### (1)方法論の名称

バイオマスボイラーの新設

### (2)申請者

オリックス環境

### (3)方法論の概要

新築または増築の際に、化石燃料を燃料とする一般的なボイラーではなく、バイオマスボイラーを導入することでCO<sub>2</sub>排出量を削減

(\*1) 国内クレジット制度とは、都議定書目標達成計画において規定されているCO<sub>2</sub>排出量を抑制のために排出削減量を認証し、自主行動計画などの目標達成のために活用する仕組み。中小企業などにおける排出削減の取り組みを活発化し、促進することを目的としている。

(\*2) 国内クレジット認証委員会は、排出削減事業の承認を円滑に実施するために、温室効果ガスを削減する技術や方法ごとに排出削減量算定式やモニタリング方法を定めた排出削減方法論をあらかじめ承認して公開している。排出削減事業計画は、承認された排出削減方法論に基づいて作成し、審査機関または審査員へ審査を依頼。審査を受けた後、審査報告書を受け取り、排出削減事業承認申請書に審査報告書を添付して委員会に提出し、排出削減事業の承認を受ける必要がある。（ご参考：国内クレジット制度削減量認証制度・・・<http://jcdm.jp/process/index.html>）

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス株式会社 社長室広報担当：宮木・横井

電話：03-5419-5102

オリックス環境株式会社 EMS推進部：三浦・加藤

電話：03-5419-5706